

令和元年 8月7日

福島大学創立 70 周年記念事業

2019 夏 教育実践福島ラウンドテーブル

学び続ける教師コミュニティ

これからの教員には、教えの専門家としての側面と学びの専門家としての側面が求められています。「教育実践福島ラウンドテーブル 学び続ける教師コミュニティ」は、激動の時代における教師が学び続けるためのアクティブ・ラーニングの視点に立った新しい教員研修の形を目指し継続開催しています。

今回は、基調講演に粕谷恭子氏(東京学芸大学教授 小学校英語教育学会会長)をお招きし、来年4月に迫った小学校学習指導要領完全実施を視野に入れた「英語教育10年間時代の幕開け ~小学校での完全実施前に考えておくこと~」をテーマにご講演いただきます。

午後に行われるラウンドテーブルでは、校種、職種を超えた少人数のグループが一つのテーブルを囲み、実践報告を手がかりに対話することで、各人が学び手として新たな気付きを得たり、方策を見出したりします。

このラウンドテーブルは、本学大学院人間発達文化研究科教職教育専攻(教職大学院)院生による研究報告の場であるとともに、県内外の教育関係者の「学び続ける教師コミュニティ」形成の場にもなっています。

日 時：2019年8月19日(月)10:00~16:00

場 所：福島大学L棟・S棟

主 催：福島大学大学院人間発達文化研究科

後 援：福島県教育委員会、福島県市町村教育委員会連絡協議会 ほか

詳細につきましては、別紙チラシをご参照ください。

(お問い合わせ先)

福島大学人間発達文化学類教授 鶴巻 正子

960-1296 福島市金谷川1番地

電話：024-548-8173 / FAX:024-548-3181

メールアドレス：turumaki@educ.fukushima-u.ac.jp

福島大学創立70周年記念事業

2019 夏 教育実践福島ラウンドテーブル 学び続ける教師コミュニティ

2019

8.19 (月)

—10:00~16:00—
(受付開始 9:30~)

福島大学L棟・S棟



ラウンドテーブルは、福島大学教職大学院生や県内外の教育関係者、保護者・市民等が、それぞれの立場での実践成果や悩み等を交流する場として、県全体の教育のボトムアップを目指す「学び続ける教師コミュニティ」の場になっています。

◇ 当日の主な日程 ◇

10:00~10:10 主催者挨拶 (受付:L棟1階 L-4ロビー)
10:10~12:00 基調講演「英語教育10年間時代の幕開け
~小学校での完全実施前に考えておくこと~」

講師 かす や きょう こ
粕谷 恭子氏 (東京学芸大学教授 小学校英語教育学会会長)



【主な業績等】

論文「英語の授業ができる教員不足を自校でどう解消するか」(2019)
「子どもの学びを活かした授業をめざして」(2019)
「無理のない英語教育改革のために校長先生に期待すること」(2018)
「英語学習における学習者の能動的な役割」(2018)
「リレー執筆英語教育時評」英語教育67巻 その他多数
著書「教育課程コアカリキュラム」(共著、2018、シダイ社) その他多数
文科省「英語教員の英語力・指導力強化のための調査研究授業」報告書(2017)

【講演概要】

小学校3,4年生での外国語活動、5,6年生での教科外国語の導入に伴い、小学校教員のみならず中・高の英語教員も大きな意識改革を迫られています。時間ばかりが飛びように過ぎる中、2020年4月に迫った小学校での新学習指導要領完全実施目前の今、漠然とした不安や正体の見えなさを整理し、効率的に新しい英語教育に取り組む準備をすることは意義深いことと考えます。本講演では、午後のラウンドテーブルに向けた話題提供を行います。多くの学校を訪問し子どもたちが授業の中で見せてくれた姿をもとに、新しい英語教育における小学校の役割と限界に触れつつ、小中連携のありかたをご一緒に考えたいと思います。

12:00~13:00 昼食(大学会館の食堂・売店を利用することができます。)

13:00~16:00 ラウンドテーブル (受付:S棟2階ロビー)
幼稚園・小学校・中学校・高等学校・特別支援学校・大学・教育委員会・一般の方々と交えて、少人数グループに分かれ、報告を基に日々の教育活動について自由に語り合います。

16:30~18:00 懇親会(会費 500円) (受付:大学会館2階大集会室)
自由な雰囲気の中で意見を交換し、親交を深めます。

主催 福島大学大学院人間発達文化研究科

共催 福島県教育委員会

後援 福島県市町村教育委員会連絡協議会

福島県都市教育長協議会

福島県町村教育長協議会

福島県小学校長会

福島県中学校長会

福島県高等学校長協会

福島県特別支援学校長会

ラウンドテーブルの魅力

～参加された方々の感想～



- 普段同じ校種の人との関わりが多いので、他校種の方々、いろいろな立場の方々と話ができ、いつもと違う視点から自分のことを振り返ることができて、大変有意義な時間となりました。(幼稚園20代)
- いろいろな立場、年齢、職種の先生方と話をすることで、とても勉強になり、また自分のあいまいなところが分かりました。(小学校30代)



- 初めての参加でしたが、様々な校種、立場の先生方と、とても充実した話し合いができました。現場は「問題ばかり」ではなく、「現場の子どもの姿にこそ、現場にこそ答えがある」ことを改めて実感しました。(教育行政50代)
- 午後の時間が長いかと思いましたが、実際に参加したらとても充実した一時となり、充電できた場となりました。もっと話を聞いていたかったです。(一般公務員50代)

報告者募集！ (ミニレポート報告)

- 普段取り組んでいることや悩み、疑問などをA4判1枚に1～2項目を立てるだけで結構です。グループ協議の中で口頭で報告してください。もちろん、詳しい資料として作成いただくことも大歓迎です。(報告資料は、当日、7部ご持参ください。)
- 院生26名も、これまでの学びの道のりを報告します。

新たな出会いが明日への活力となります。多くの皆様のご参加をお待ちしております。

2019 夏 教育実践福島ラウンドテーブル 参加申込書

(A) 氏名(ふりがな)	()	()
(B) 所属・職名	.	.
(C) 所属分類		
(D) 職業分類		
(E) 地域分類		
(F) 参加の仕方 (該当するところに○を付けてください)	1日参加	
	午前のみ参加	
	午後のみ参加	
	懇親会参加	
(G) ミニレポート報告希望	有 ・ 無	有 ・ 無
(H) 連絡先メールアドレス		
(I) 連絡先電話番号		

《記入分類例》

(C) 所属：1 幼・保 2 小学校 3 中学校 4 高校 5 特支 6 大学 7 教育委員会 8 社会教育施設
9 病院・福祉関係 10 その他

(D) 職業：1 教員(現職院生を含む) 2 学校管理職 3 研究者 4 社会教育 5 障がい・福祉 6 病院・看護
7 行政職・指導主事 8 学部生・学類生 9 大学院生 10 その他

(E) 地域：1 県北 2 県中 3 県南 4 会津 5 南会津 6 相双 7 いわき 8 県外

◇ 参加申し込み方法 ◇

上の参加申込用紙に記入してFAXで送っていただくか、人間発達文化学類WEBページから申込書をダウンロードしてメール等で2019年8月2日(金)までにお申し込みください。(当日受付も可です)

- * 大学構内の駐車場を無料でご利用いただけます。
※ 駐車券を受付までお持ちください。
- * 当日は軽装でお出かけください。
※ 冷房による冷えすぎが心配な方は、上着等をご持参ください。

【お申し込み・お問い合わせ先】

福島大学人間発達文化学類支援室
TEL 024-548-8101
FAX 024-548-3181
Mail ningen@adb.fukushima-u.ac.jp